※令和４年度以降入学生用

学校番号	1206

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	国語読解	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	みるみる実力アップ　現代文１（第一学習社　出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この講座では様々な種類の文章を読み解き、演習問題を解いていくことで実戦的な国語力の向上を主眼としています。現代文や漢字、文法・作文・古文・漢文についての基礎知識を演習を通して学び、年度の終わりには応用問題にも取り組んでいきます。

授業の前半はワークを使って問題を解き、後半ではその解説を行います。基本的に宿題の提出はありませんが、定期的にワークを提出してもらいます。

２　学習の到達目標

多様な演習問題を通して、実践的な国語力の向上を目指す。

（１）様々な文章を読み解くことで、日本語についての知識を増やし、基礎的な国語常識を身につける。

（２）論理的思考を養い、適切に自己の考えを表現することができるようにする。

（３）古文や漢文について学ぶことで我が国の伝統文化への理解を深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基本的な漢字の読み書きや文法事項、表現方法などを理解し適切に使用している。	各文章を読み解き、筆者の主張や話の筋を理解している。また「書くこと」「読むこと」の各領域において、読み取った内容を外言化することができる。	授業内で取り組んだ内容や疑問を積極的に発言することができる。また作文やワーク内にあるレポート課題について十分に指示を理解し、文章化して提出することができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	筆者の主張を理解する。 ［教材］ 「虫たちとの交流」 「有名になること」 「水のリズム」他	a：文章全体を見通し、筆者の主張を正しく理解する。 b［　読　］：説明文や随筆作品において文章の内容や構成、展開を適切に理解することができる。 c：読み取った内容を自らの言葉で表現することができる。	定期考査	定期考査	ワーク
	物語の筋をつかみ、登場人物の描写から心情をつかむ。 ［教材］ 「さようならの雪」 「図書室の海」 「生命のネットワーク」他	a：物語を味わい、登場人物の心情をつかむ。 b［　書　］：物語の筋を理解し、適切に問題に対して自己の言葉で表現することができる。 c：自己の意見や感想について推敲し、適切な表現で文章化することができる。	定期考査	定期考査	ワーク
2	複雑な説明文を読み解き、構成を理解する。 ［教材］ 「危険を学ぶ」 「プロテウス的人間」 「日本的集団主義の実像」他	a：文章の構成を理解し、筆者の主張や根拠について理解する。 b［　読　］：筆者の主張を読み解き、設問に正しく答えることができる。 c：筆者の主張に対しての自分の意見を文章にまとめることができる。	定期考査	定期考査	ワーク
	現代国語文法や国語常識を学ぶ。 ［教材］ 文法プリントなど。	a：基礎的な国語常識について正しく理解する。 b［　書　］：漢字や文法を正しく使用することができる。 c：ワークシートに自らの気づきをまとめ、文章化することができる。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
3	日本の古典作品にふれ、教養を深める。 ［教材］ 「現代の序言葉」 「北斎の顔」 「芋粥」他	a：古文単語や歴史的仮名遣いについて理解し、現代語訳することができる。 b［　読　］：古典作品について内容を理解し味わうことができる。 c：積極的に古典作品について味わい、意見することができる。	定期考査	定期考査	ワーク

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準［ｂ］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　４０　）時間

・読むこと　…　（　３０　）時間